

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	ゆうゆう学級講座開催事業				担当部	教育委員会				
	会計区分	一般会計				担当課	生涯学習課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	社会教育文化係			
	基本施策・展開方向	4	文化・スポーツ	16	生涯学習	1	学習の機会を提供します				
	予算区分	款	10	項	5	目	2	大	2	中	3
	根拠法令・個別計画	第3次小牧市生涯学習推進計画									
	目的	何・誰を対象に	60歳以上の小牧市市民を優先に、市内在勤・在学者								
		どのような状態にするのか	・生きがいや仲間を得る。 ・公民館活動や市民活動団体に参加するなど、地域に貢献する人材となる。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市公民館こまなびサロンの企画・運営により、1年間にわたって小牧市公民館にて、おおむね毎月第2・4木曜日午前に2時間の講座を20回開催した。</li> <li>・定員は50名。応募は35名。他公民館のゆうゆう学級落選者の追加により在籍は40名。</li> <li>・内容と受講率は別紙のとおり。</li> </ul> <p>◆28年度直接経費の内訳(支出ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師等謝礼…88,000円</li> <li>・消耗品費…5,305円</li> <li>・食糧費…2,880円</li> </ul> <p>◆29年度直接経費の内訳(予算ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師等謝礼…176,000円</li> <li>・消耗品費…23,000円</li> <li>・食糧費…4,000円</li> <li>・バス借上料…120,000円</li> <li>・有料道路・駐車場使用料…10,000円</li> </ul>									
	受益者負担	有 1人当たり受講料 3,000円 ※教材費は別途実費負担。 受益者負担総額 120,000円(3,000円×40人)									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	239	211	97	333	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	562	562	562	562
		その他職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	1,124	1,124	1,124	1,124
	費用合計	千円	1,925	1,897	1,783	2,019		
	対前年比	%		98.5	93.9	113.2		
財源	一般財源	千円	1,925	1,897	1,783	2,019		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	学級数	学級	目標	2	2	1
実績				2	2	1	
	活動回数	回	目標	40	40	20	20
			実績	40	40	20	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	応募率	%	目標	100	100	100	100
実績			69.0%	68.0%	70.0%	110.0%	
	受講者数	人	目標	100	100	50	50
			実績	69	66	40	50
	年間平均受講率	%	目標	-	-	80.0%	80.0%
			実績	-	-	71.9%	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	2年学級を単年度学級に事業を見直して実施した。応募率は70%で、受講者は定員50名に対して40名だった。年間をとおしての全活動の受講率の平均は71.9%だった。最も受講率が高かったのは「開校式」(85.0%)、最も受講率が低かったのは「輝くシニア世代について語ろう」(55.0%)だった。					
		事業実施における課題	事業目的の達成度を測るため、アンケート項目や追跡調査を検討する必要がある。そのほか、安価な受講料で年間の活動回数が多いためか、受講率が8割以下になることが多い。他市町の同様の事業と比較しても活動回数が多いため、検討が必要である。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	引き続き平成28年度と同程度の回数・内容の事業を実施している。平成29年度の実施率は110.0%に向上している。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	6	千円	予算区分	19	節	節
	判定理由・削減内容	市公民館のゆうゆう学級については、平成30年度は事業運営を、市主導からこまき市民文化財団主導へ変更する予定であるが、事業計画は平成29年度中に立てる必要があるため、これまでと同様の回数・形態で実施する予定であるが、1年で20回の開催のうち、社会見学や出前講座の利用により講師謝礼が不要の回もあることから、講師等謝礼を6千円削減する。						
	30年度以降の実施内容	こまき市民文化財団の主導となることで、より柔軟な企画・運営を行なうことが可能となるため、市民センターと連携をとりながら見直しを検討していく。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。